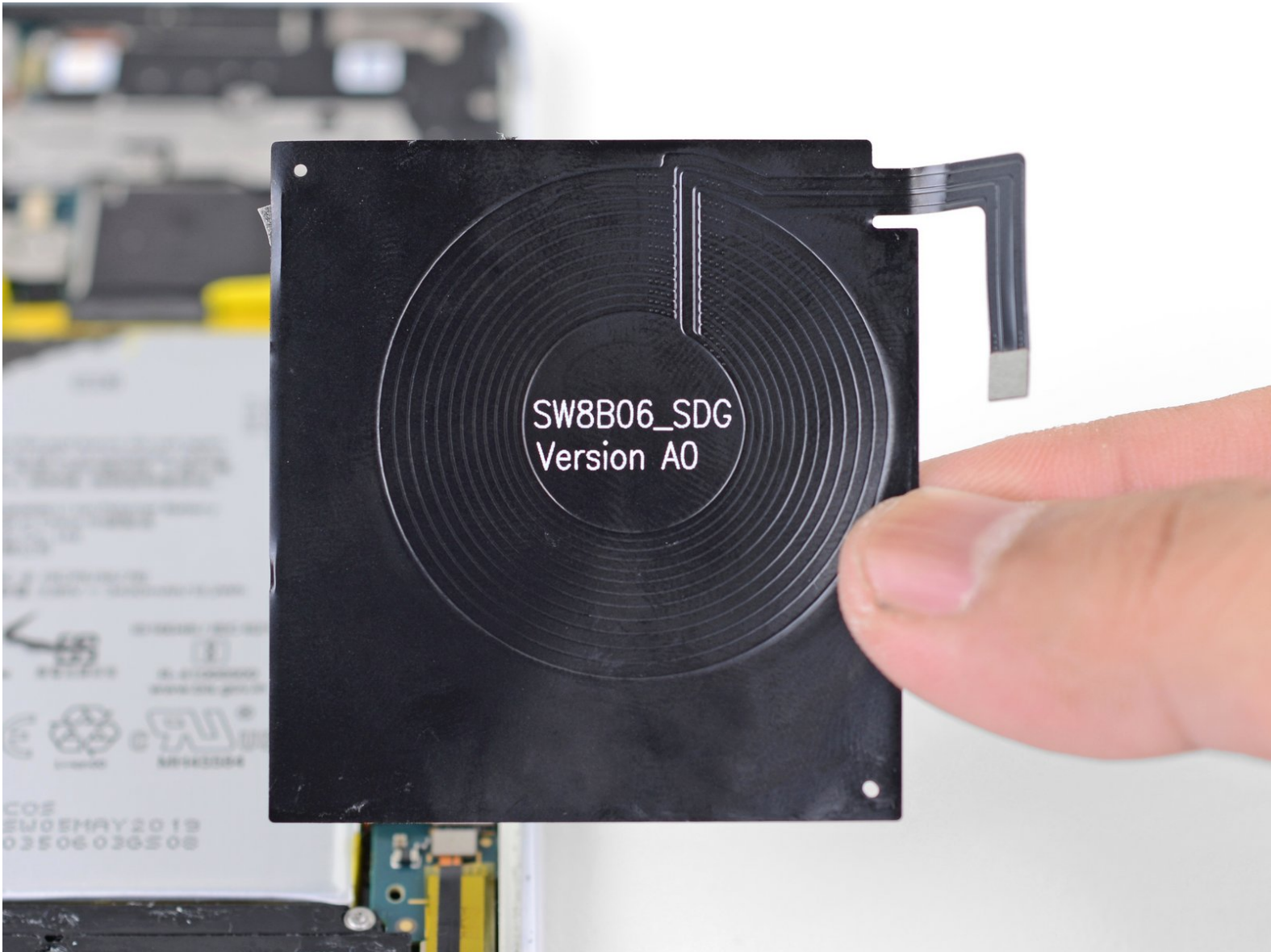




Google Pixel 3 XL ワイヤレス充電コイルの交換

この修理ガイドはiFixitのテックライティングスタッフによって執筆されたもので、Google...

作成者: Arthur Shi



はじめに

この修理ガイドはiFixitのテックライティングスタッフによって執筆されたもので、Googleによって承認されたものではありません。iFixitの修理ガイドのクオリティーについては、[こちら](#)を参照してください。

このガイドはGoogle Pixel 3 XLのワイヤレス充電コイルを取り出して、交換するためのものです。

コイルはバッテリーに大量の接着剤で固定されています。バッテリーへのダメージを防ぐため、



ツール:

- T3 トルクスネジ用ドライバー (1)
- iOpener (1)
- ハンドル付き吸盤 (1)
- ピンセット (1)
- スパッジャー (1)
- iFixit開口用ピック(6枚セット) (1)
- iFixit接着剤リムーバー (バッテリー、スクリーン、ガラス接着剤用) (1)
- イソプロピルアルコール (1)



部品:

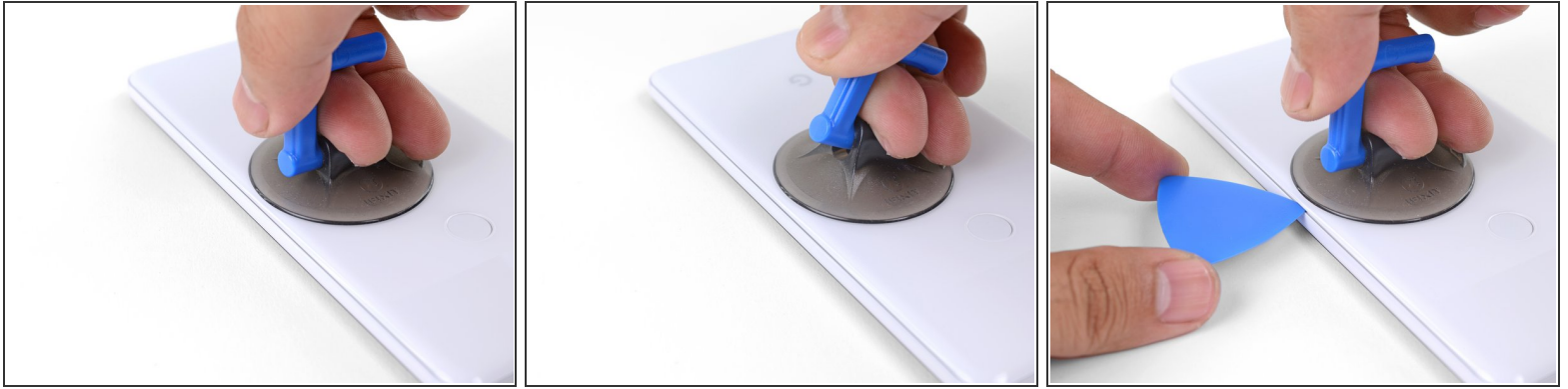
- Google Pixel 3 XL バックカバー用接着剤—純正品 (1)

手順 1 — バックカバーの端を温めます



- [iOpenerを温めて](#)、バックパネルの右端に約1分間載せます。
- ⓘ ヘアドライヤー、ヒートガンやホットプレートでも対応できますが、デバイスをオーバーヒートしないようにご注意ください。内蔵バッテリーは熱によるダメージを受けやすいです。
- 待機中、バックカバーの注意すべきエリアを確認してください。
 - 強力な接着力エリアーデバイス底付近の接着剤には、大型パッチが使用されています。
 - 指紋センサーケーブルーケーブルの下の接着剤をスライスして切開する際に、切断しないようにご注意ください。

手順 2 — バックカバー下に隙間を作ります



- 吸盤カップをバックカバーの温めた端の付近に取り付けます。
- 吸盤カップを強く一定の力で引き上げて、隙間を作ります。
 - デバイスの使用期間にもよりますが、この作業は難しいでしょう。作業が上手く進まない場合は、端を再度温めてから再試行してください。
- オープニングピックの先端を隙間に差し込みます。

手順 3 — 右端接着剤を緩めます



- オープニングピックを右端に沿ってスライドして、接着剤をスライスしながら切開します。
- 接着剤は固まり、冷却されるとスライスが難しくなります。この場合、再度端を温めてスライスしやすくします。
- 端全体をスライスしたら、接着剤が再装着するのを防ぐため、オープニングピックを隙間に残しておきます。

手順 4 — バックカバー下側端を温めます



- 温めたiOpenerをバックカバーの下側に沿って、約1分間載せます。

手順 5 — 下側の接着剤を切開します



- 開口ピックを使って、下側右端コーナー周辺の接着剤を切開し、続けてデバイスの下側端全体に沿ってスライドします。
- ❗ コーナーをスライスする際は、パネルを割らないよう慎重にゆっくり進めてください。スライド作業が難しくなった場合は、熱を再度当ててください。
- ピックを下側端に残して、接着剤の再装着を防ぎます。

手順 6 — 本体残りの端をスライドします



- 続けて、デバイス残りの端を温めて、スライドして接着剤を切開します
- デバイス左側端に沿ってスライドする際はご注意ください。オープニングピックが詰まっている感じがしたら、指紋センサーに絡まっている可能性があります。ピックを隙間からゆっくりと取り出して、再試行してください。
- デバイスの右側端と下側端付近で、接着剤が厚い部分についてもしっかりと切開してください。

手順 7 — 残りの接着剤を切開します



- バックカバーの右側端を慎重にこじ開けます。
- オープニングピックを使って、端に沿って残っている接着剤を全て切開してください。

手順 8 — バックカバーを開きます



- 本をめくるように、バックカバーの右端を、左側に沿ってめくります。

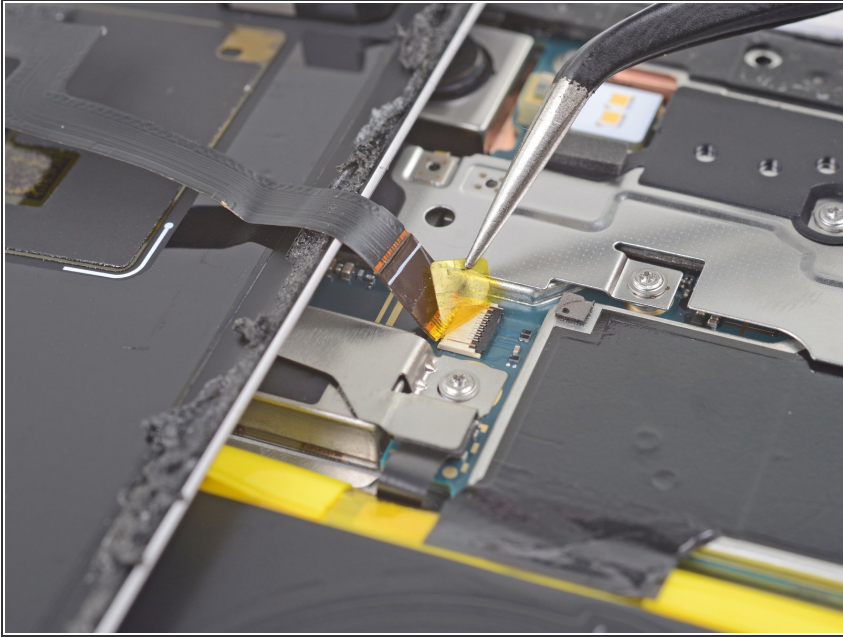
 指紋センサーケーブルを挟まないように気をつけてください。

 再組立ての際は、デバイスの電源を入れて、機能が回復しているか確認してから閉じて密封してください。作業を再開する前に、必ず電源を完全に切ってください。

 再組立ての際は、この[ガイド](#)に従って、カスタムカットされた接着剤をバックカバーにインストールしてください。

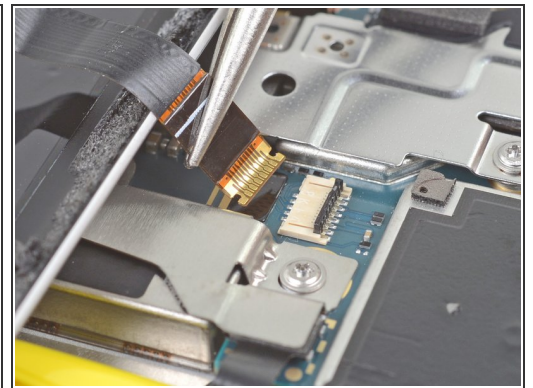
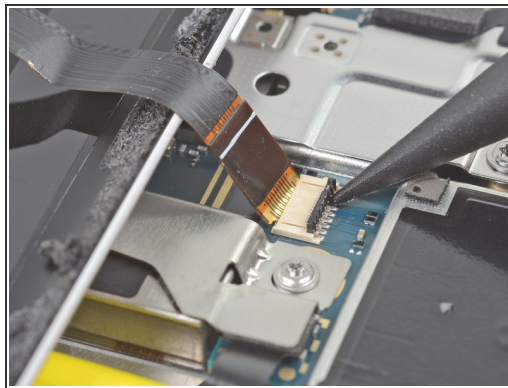
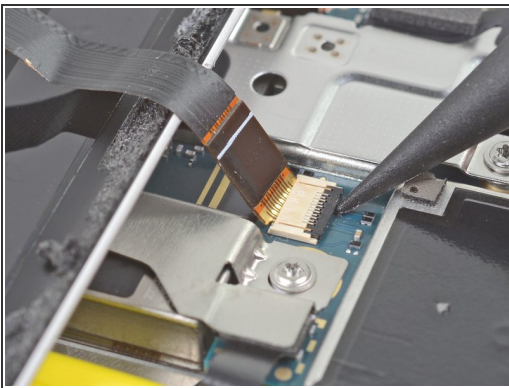
 指紋センサーを交換した場合は、[このソフトウェアツール](#)を使用して、新しいセンサーをデバイスに認識させる必要があります。

手順 9 — 指紋センサー用テープを剥がします



- ピンセットを使って、指紋センサー用コネクタ上に貼られた黄色のテープをゆっくりと剥がします。

手順 10 — 指紋センサーの接続を外します



- スパジャラーの先端を使って、指紋センサーのZIPソケット上の黒いロックバーを持ち上げます。
 - ケーブルのタブを、指先もしくはピンセットでつまんで、ゆっくりとフレックスケーブルをソケットからずらしながら外します。
- ⓘ ショートを防ぐため、ピンセットでフレックスケーブル上のメタル製コンタクトに触れないようご注意ください。

手順 11 — バックカバーを外します



- バックカバーを外します。

★ [このガイドを参照して](#)、新しいバックカバーの接着剤を正しく装着してください。

手順 12 — メタルカバーのブラケット用ネジを外します



- メタルカバーブラケットを固定しているT3ネジを4本外します。

- 4mm長ネジ—3本

- 3mm長ネジ—1本

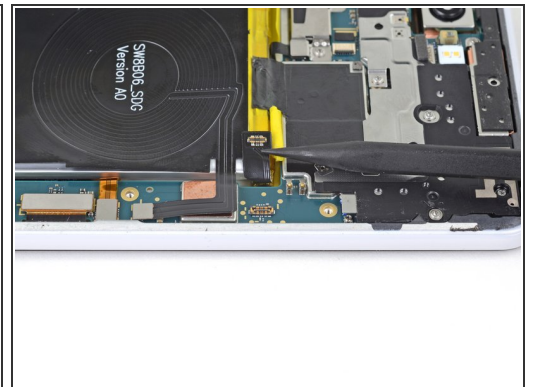
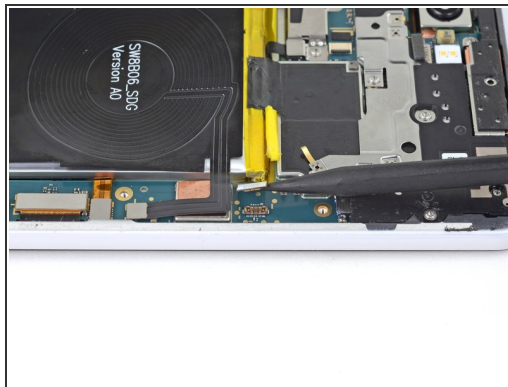
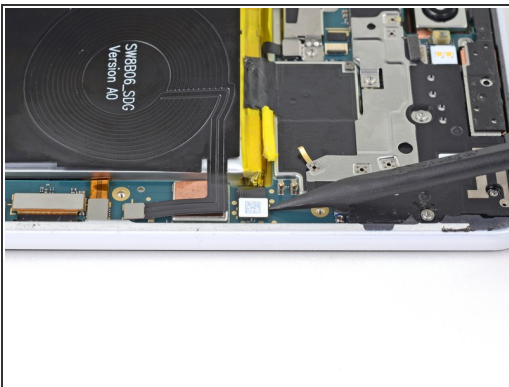
★ この修理の間、[各ネジの位置情報を記録し](#)、元の場所に正確に戻しているか確認してください。

手順 13 — メタルカバーブラケットを外します



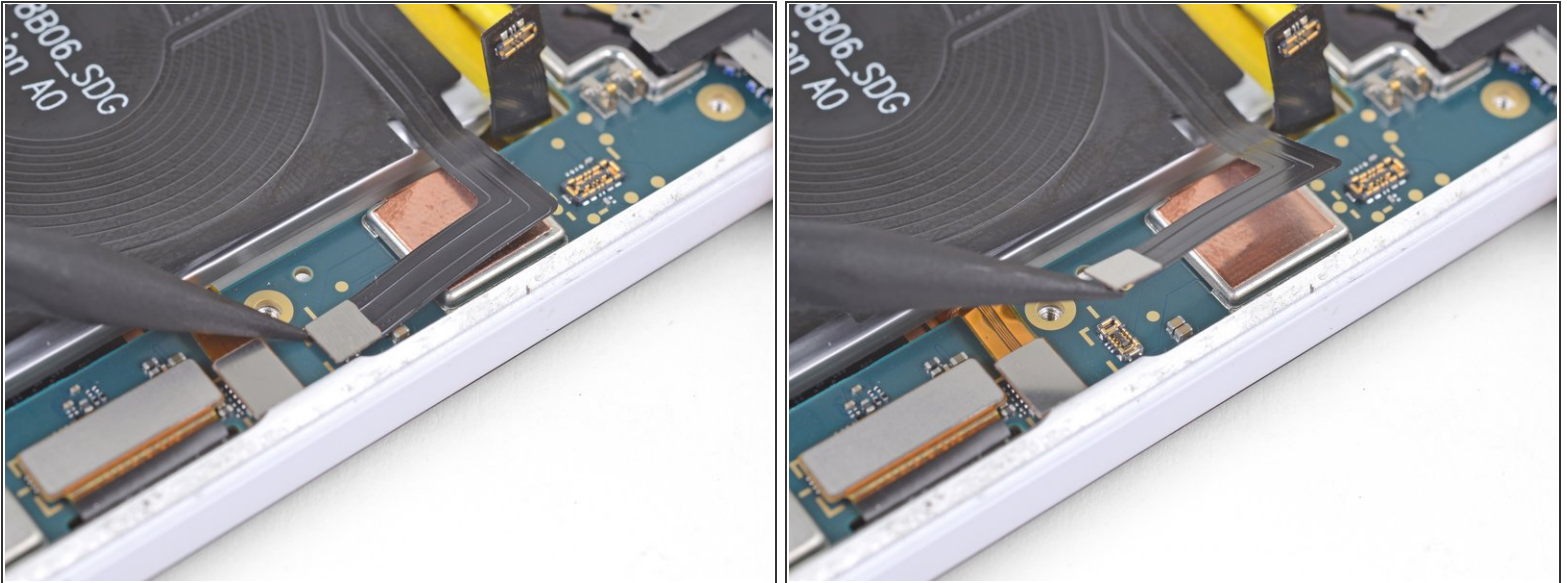
- スパジヤーの平面側先端を、メタルブラケットの上部右端の下に差し込み、こじ開けながらこれを緩めます。
- メタルカバーブラケットを外します。

手順 14 — バッテリーの接続を外します



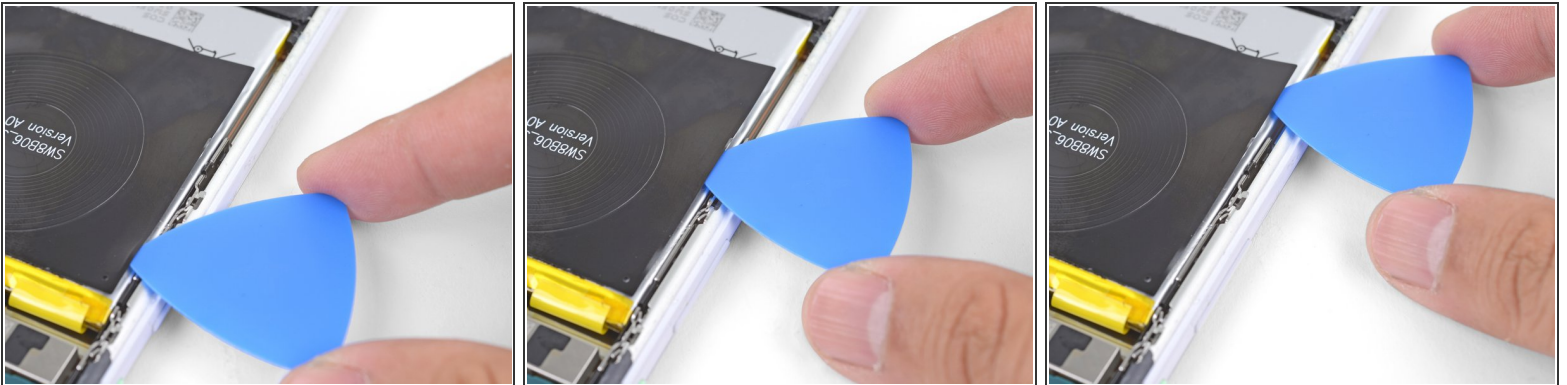
- スパジヤーの先端を使って、ソケットからバッテリーコネクタの接続を持ち上げて外します。
⚠ メタル製ツールを使って、バッテリーの接続を外さないでください。バッテリーをショートさせてしまう危険性があります。
- バッテリーケーブルを折り曲げて、アクシデントでコネクタがソケットと接触しないようにします。

手順 15 — 充電コイルの接続を外します



- スパッジャーの先端を使って、充電コイルのコネクタを、デバイス右側端付近にあるマザーボードからこじ開けて接続を外します。

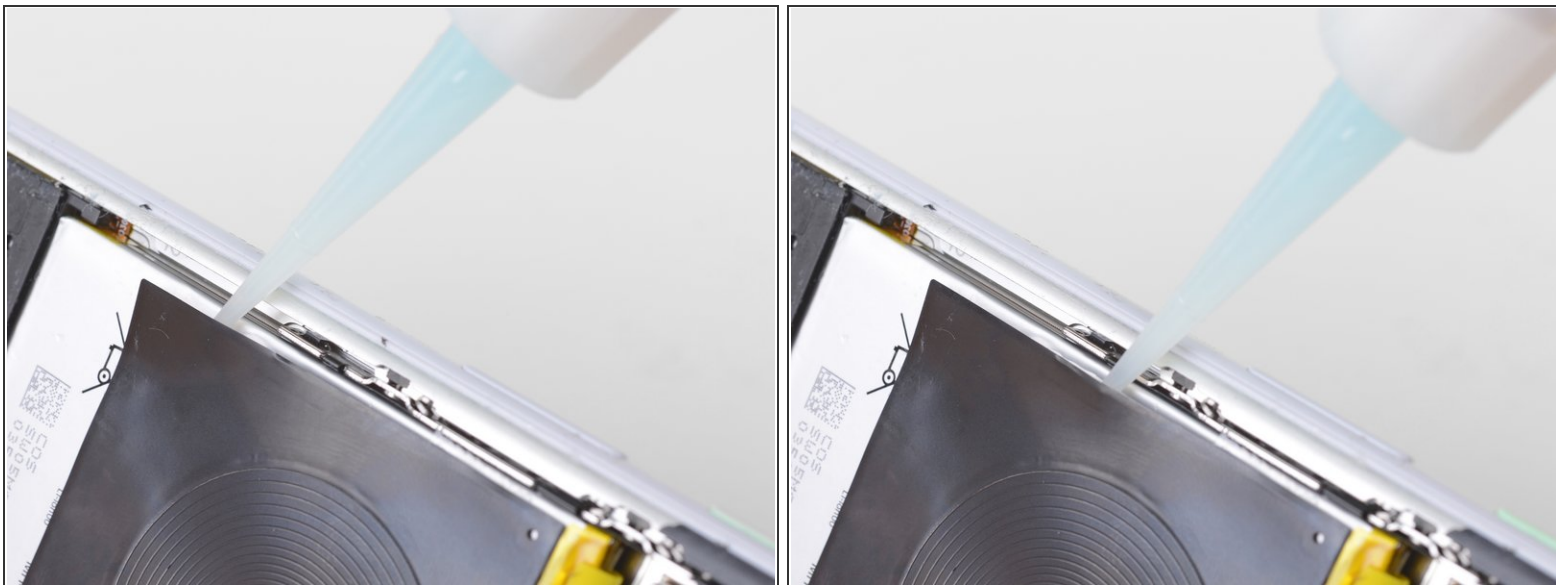
手順 16 — 充電コイルの下を切開します



- 開口ピックの先端を充電コイルの端の下に差し込みます。
- 開口ピックを端にそってスライドして、接着剤を緩めます。

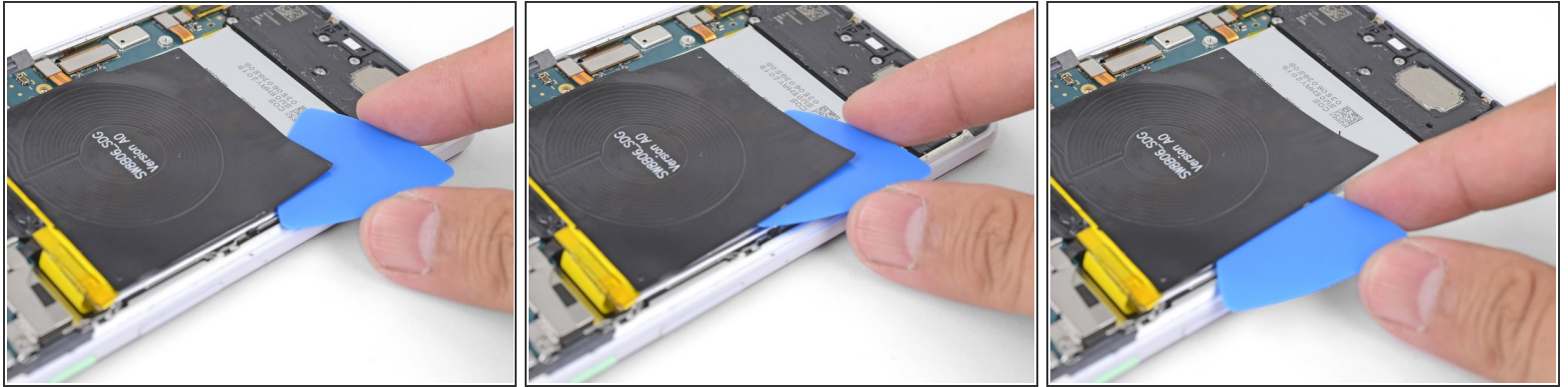
⚠ バッテリーの表面に穴を開けないように気をつけながら、できるだけ奥まで差し込んでください。

手順 17 — コイルの下に接着剤リムーバーを注入します



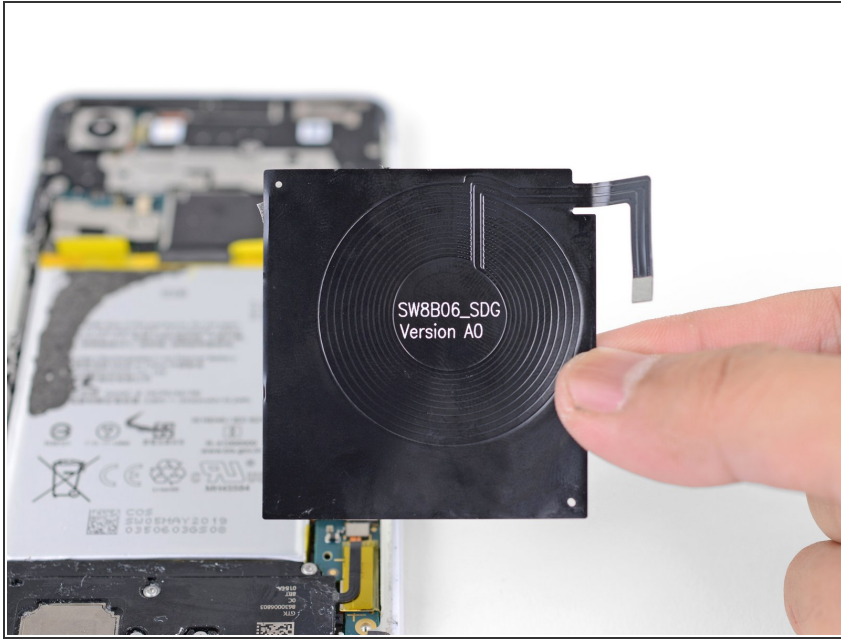
- 切開している側を上向きにして、デバイスを傾けます。
- 傾斜したポジションのデバイスを持ちながら、接着剤リムーバーもしくは、高濃度イソプロピルアルコールをエッジに沿って数滴注入します。
- デバイスを傾斜したままのポジションで、約1-2分間固定します。接着剤が流れ込んで柔らかくなるのを待ちます。

手順 18 — コイルの接着剤を切開します



- 開口ピックの平面側先端を充電コイルのコーナー下に差し込みます。
- ピックをゆっくりと強くコイルの下に押し込んで、接着剤を緩めます。
- 接着剤は充電コイルの周辺に使用されています。開口ピックを使って、接着剤をゆっくりと切開します。
- ❶ 接着剤が強力で上手く切開できない場合は、デバイスを再度傾けて、リムーバーをさらに数滴注入してください。

手順 19 — 充電コイルを取り出します



- ワイヤレス充電コイルを取り出します。
- ★ 交換用コイルをインストールするには
 - バッテリーの表面に接着剤が残っていないか点検して、綺麗に拭き取ってください。作業中、バッテリーに穴を開けないようにご注意ください。
 - ワイヤレス充電コイルのコンタクトをマザーボードソケットに接続します。コイルが正しく装着されているか確認してください。
 - 交換用コイルに裏張りされた接着剤シールを剥がします。
 - コイルをバッテリーの上に載せて、しっかりと押さえて固定します。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。

e-wasteを処理する場合は、[認可済みリサイクルセンターR2](#)を通じて廃棄してください。

修理が上手く進みませんか？ 基本的な [トラブルシュートのページ](#)を参照するか、[アンサーフォーラム](#)を検索してください。